

福島県、富岡町及び川内村の原子力防災対応から見た課題

課 題	検討の方向性
【情報伝達】 ・ 停電による通信の途絶 ・ 通信途絶による関係機関への情報伝達が不能	→ 通信設備の多重化、災害に強い通信基盤の整備 → 通信途絶を想定した連絡体制の整備
【避難関係】 ・ 官邸主導、市町村独自の避難 ・ 広域避難の実施 ・ 災害時要援護者へ配慮した避難が実施されなかった ・ 市町村が独自に輸送車両の手配、自家用車による交通渋滞の発生 ・ 避難元市町村と避難先市町村の独自協議	→ 各応急対策における責任の所在、役割の明確化 → 広域避難を想定した避難計画の策定 → 災害時要援護者に配慮した避難計画の策定 → 輸送体制の確立 → 広域的な応援体制（相互応援体制、受入体制の整備）
【事態の長期化・広域化】 ・ 避難の長期化 ・ 住民に広がる放射能への不安	→ 行政機能の支援（役場機能の確保、職員の派遣） → 放射能について正しい知識の普及・啓発
【モニタリング等】 ・ モニタリングの長期化・広域化	→ モニタリング体制の確立
【緊急被ばく医療】 ・ 除染レベルの引き下げ ・ 安定ヨウ素剤の住民への配布、服用	→ スクリーニングの体制整備 → 安定ヨウ素剤の配布、予防服用手順の確立
【オフサイトセンター】 ・ 活動拠点の移動	→ オフサイトセンターのあり方検討（国）
【住民広報】 ・ 情報の入手はテレビ・ラジオ	→ 緊急時におけるメディアとの協力体制の構築